

チャイナ・マーケット・インサイト

CHINA MARKET INSIGHT

中国の市場・業界・商習慣を徹底調査&研究

巻頭特集

進むライフスタイルの向上、 商業施設も続々オープン

浙江省と江蘇省の中堅都市の消費動向を探る

トレンド・ウォッチ

若年層も参入、株バブルはいつまで続くのか

中国で盛り上がる株式投資ブーム

都市別マーケティングレポート

紹興 編

浙江省4位の規模 日本ブランドも存在感あり

インタビュー
中国ビジネス最前線
「エコ」がキーワード、成長期待の塗料マーケット
中国の塗料市場の現状と展望



江蘇省の連雲港では新しい商業施設が続々オープン

<http://www.cast-marketing.com/>



会員制サイト「キャスト中国ビジネス」
中国EC・マーケティング会員コース

CHINA MARKET INSIGHT



2 卷頭特集 **進むライフスタイルの向上、 商業施設も続々オープン** 浙江省と江蘇省の中堅都市の消費動向を探る

- 18 **トレンド・ウォッチ** 現地の最新商品&サービス
**若年層も参入、
株バブルはいつまで続くのか**
中国で盛り上がる株式投資ブーム
- 22 **インタビュー** 中国ビジネス最前線 ～現地企業のキーパーソンに聞く～
**「エコ」がキーワード、
成長期待の塗料マーケット**
中国の塗料市場の現状と展望
- 26 **都市別調査** 都市別マーケティングレポート 紹興 編
浙江省4位の規模 日本ブランドも存在感あり

28 編集後記

進むライフスタイルの向上、 商業施設も続々オープン

浙江省と江蘇省の中堅都市の消費動向を探る

福泰隆
FUTAILONG SUPERMARKET

2014中国梦想·美丽金华大型主题灯会指定售票处 福泰隆

出口 福泰隆 FUTAILONG 入口

中国の消費動向は、大都市だけではなく地方都市の状況を見ることも必要だ。
都市としての体裁を整え、商圈も発展しつつある中堅都市が増えてきた。
新たな商業施設が進出し、市民の購買力も増加中だ。
浙江省と江蘇省の4都市を視察し、消費の現場を報告する。

各都市の比較 (データはいずれも2014年)

	浙江省			江蘇省		
	杭州	紹興	金華	南京	塩城	連雲港
面積	1万6596km ²	8279km ²	1万942km ²	6597km ²	1万7000km ²	7446km ²
常住人口	889万人	494万人	543万人	821万人	720万人	445万人
GDP	9201億元	4265億元	3206億元	8820億元	3835億元	1965億元
都市部1人当たり 可処分所得	4万4632元	4万3167元	3万9807元	4万2568元	2万5854元	2万3595元
社会消費品 小売総額	3838億元	1487億元	1592億元	4167億元	1314億元	740億元
主要商圈	◇解放路商圈 ◇迪蕩世茂商圈 ◇柯橋商圈			◇江北(人民広場) 商圈 ◇江南商圈 ◇江東(万達) 商圈		◇建軍路商圈 ◇城南聚龍湖商圈 ◇塩瀆商圈 新浦区通灌路

江蘇省



浙江省



【紹興】

向上する市民のライフスタイル

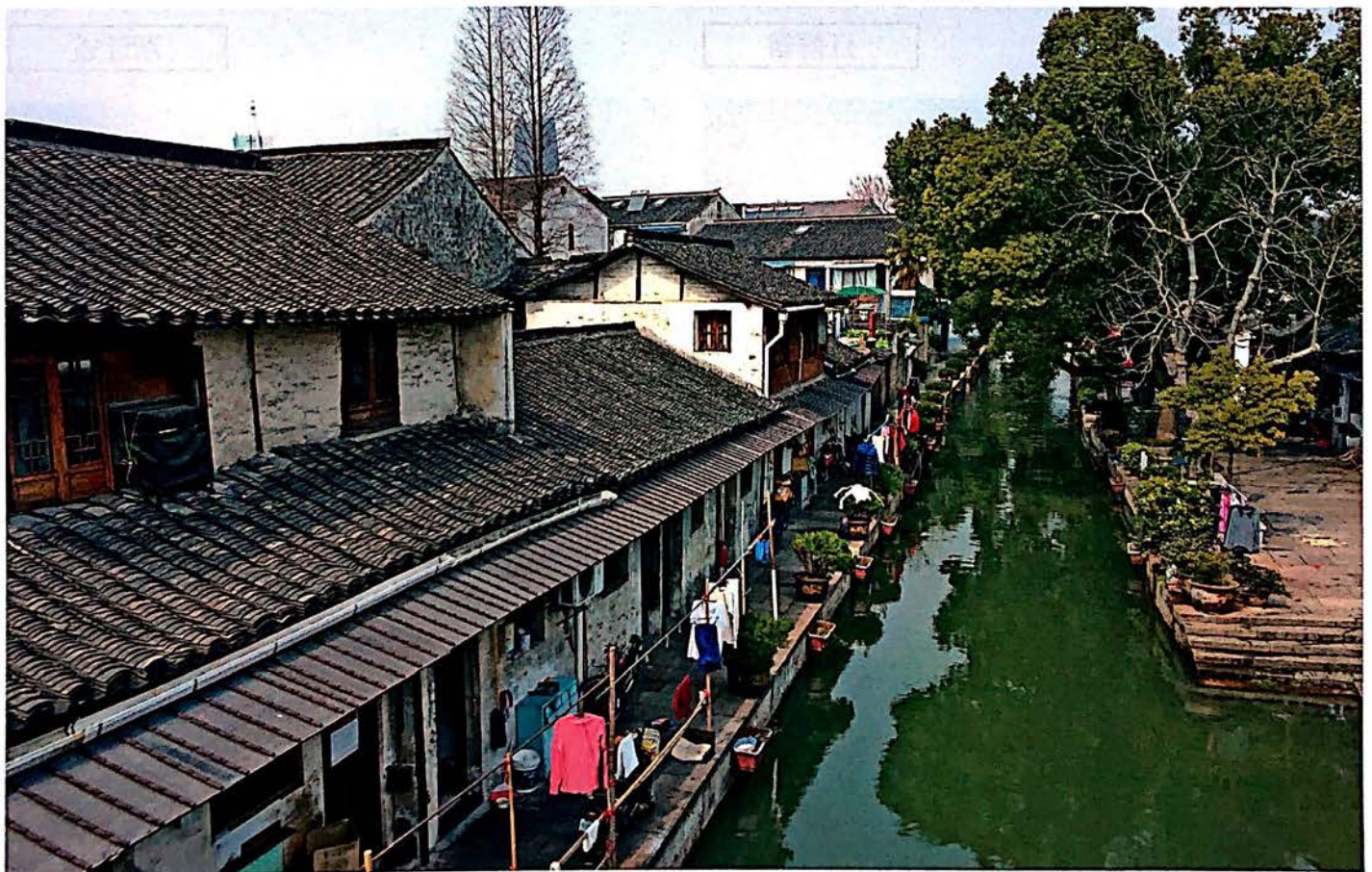
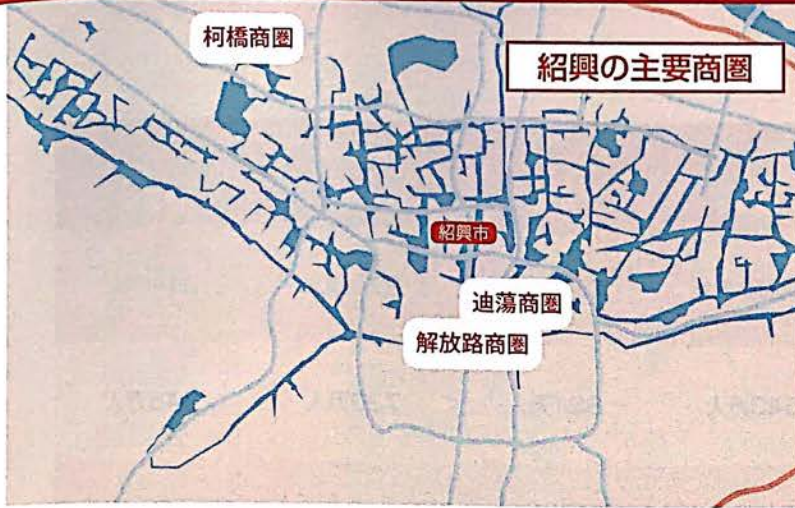
浙江省4位の規模

省内の地域格差が小さいことと知られる浙江省。1人当たりの可処分所得は中国の省の中で最大で、都市部では3万7851元、農村部では1万6106元となっている。ほとん

どの都市が「相当程度に富裕」となっているわけだが、紹興市もその一つに数えられる。

紹興といえば紹興酒が真っ先に思い浮かぶが、経済規模はそれほど知られていない。実は同市の2013年GDPは3967億2900万元で、浙江省では杭州、寧波、温州に次ぐ第4位の規模。中国全土では第37位だ。13年の社会消費品小売総額は1318億元で、各都市のトップ30クラス。経済発展が進み、消費の実力もある都市だ。

紹興は浙江省の中北部、杭州と寧波の間に位置し、京杭大運河にもつながる河川や湖を多く有する水郷だ。2000年を超える歴史を持ち、紹興老街、倉橋直街など歴史的建造物が保存されたエリアもあることから、古くから優雅な趣が漂う。筆者は宋の時代に作られた八字橋を訪れたが、運河の両側には古い民家が立ち並び、住民は水辺でお茶を飲みながらおしゃべりを楽しんでいる。



運河を中心に歴史ある街並みが続く

【金華】

消費水準が高い浙江省の実力派都市

メイン商圏は江北

浙江省にある金華市は、世界三大ハムの一つである「金華ハム」で有名だ。同省では杭州、寧波、温州に続く第4の都市圏となる。日用品の世界的な取引市場があり、中国の県級市で最も裕福とされる義



烏市を傘下に置く。

金華市の2014年のGDPは前年比8.38%増の3206億6400万元だった。浙江省では杭州、寧波、温州、紹興、台州、嘉興に次いで第7位の規模だ。中国全土では第53位に位置する。社会消費品小売総額は同13.2%増の1592億7000万元で省内第6位。ジョーンズラングラサールが12年にまとめた「中国新興都市50強」によると、金華市は当時、三線級都市の仲間入りをしたばかりだったが、「第一財經週刊」がまとめた14年の最新都市ランキングでは74の三線級都市の中で三亞、贛州、九江に次ぐ第4位に入った。ここ数年間での発展が目覚ましいことがうかがえる。

金華市の代表的な商圏は、婺江を挟んで向かいあう江北商圏と江南商圏の二つだ。14年にオープンした万達広場が中心の江東商圏も発展の兆しを見せている。最も賑やかなのは江北商圏だ。人民広場商圏とも呼ばれる同エ

リアは、三線級都市の中でも比較的規模が大きい。西市商業步行街と、永盛購物広場、恒大百貨、第二百貨、銀泰城の四大商業施設がメインとなる。歩行街の両側には飲食施設やアパレル店が集中し、週末には多くの買物客が集まってくる。

第二百貨はオープンから30年以上経つ金華市の老舗商業施設。江北店に加え、江南店、義烏店、東陽店を展開する。江北店は12年から店舗のグレードアップを進めており、エステイローダー、ランコム、ビオテルム、クリニーク、ディオール、ロクシタン、シャネル、シスレーなどといった化粧品の世界的品牌のほか、ロンジン、ヒューゴボス、コーチ、スワロフスキーなどのブランドも入居する、同市で最高クラスの商業施設。年商は8億元超だ。

一方、95年開業の恒大百貨は小規模テナントがメインで、取扱商品も比較的安価な服飾品やバッグ、小物などが中心だ。周囲で商業施設の新設が相次いでいるため、その地位は低下気味。それでも、大衆消費という意味では、地方都市の「女人街」(廉価な商品が並ぶストリートマーケットのような雰囲気)に似たポジショニング

で、客足も少なくない。

銀泰城は同商圏で最大の商業施設だ。09年にオープンした銀泰百貨とショッピングセンターからなる同施設の建築面積は10万平方メートル超で、ポジショニングはミドル・ハイエンド。多くのレストラン、映画館、カラオケ、スーパーマーケットなどがテナント入居しており、顧客はファミリー層が中心だ。スターバックスの金華市第1号店は11年

ここに銀泰城にオープンした。永盛購物広場は13年10月に開業。ユニクロ、H&M、ZARAの三大ファストファッションブランドが揃う。顧客は若年層が中心だが、

金華の代名詞と言えばハム



【塩城】

開放的で文化の受け入れにも積極的

蘇北の中心都市、
韓国系が大きな存在感

江蘇省は中国で最も裕福な省の一つである。2014年のGDPは6兆5100億元に達し、広東省に次いで中国第2の規模だ。社会消費品小売総額は2兆3209億元

で、こちらは広東省と山東省に次ぐ第3位。都市部可処分所得は、上海市、北京市、浙江省に次ぐ第4位で、額は1万7938元だ。

江蘇省は長江を境に、蘇南、蘇中、蘇北に分けることができる。蘇南には南京、蘇州、無錫、常州、鎮江などの都市があり、江蘇省で最も発展している地域だ。蘇中は南通、泰州、揚州が中心都市。発展が若干遅れている蘇北には、徐州、連雲港、宿

遷、淮安、塩城などが位置する。蘇南と蘇北を比べると、GDPは前者が後者の2倍、社会消費品小売総額は同2.5倍といった具合だ。

やや出遅れ感のある蘇北だが、その中で比較的發展が著しい都市は塩城だ。面積は1.7万平方キロメートルで、蘇省で最大。常住人口は726万人で、蘇州、南京、無錫に次ぐ規模だ。省内で最も長い海岸線を持つ都市としても知られ、その名の通り塩の生産で有名。自動車メーカーの東風悦達起亜が同市に拠点を置いている。

塩城の14年GDPは3835億6200万元、社会消費品小売総額は1314億元で、江蘇省の13の

省轄市の中ではいずれも第7位の規模だ。蘇北においては最も外資を受け入れている都市で、14年における外資系企業からの税収は113億3500万元で、蘇北5都市全体の45.76%を占めた。同市の税収ランキング上位50社のうち、外資系企業は24社あり、そのうち韓国系企業が17社に上る。街の交通標識にハングル文字があるなど、韓国系が大きな存在感を誇っている。

商業的な雰囲気はまだ

塩城の都市部面積は1118平方キロメートルで、南京の653平方キロメートル、無錫の497平方キロメートルと比べるとかなり小さい。高層ビルは少なく、街の交通量も多くはなく、商業的な雰囲気はそれほど感じられない。同じ江蘇省の鎮江、揚州、あるいは浙江省の紹興、金華などの三線級都市と比べると、塩城は活力に欠けていると言わざるを得ない。

代表的な商圈は、長い歴史を持つ建軍路商圈、塩漬商圈、そして新興地域にある城南聚龍湖商圈の三つだ。建軍路商圈を除くと、商業施設の集中度は低く、まだ発展段階と云ったところだろう。

建軍路商圈は塩城最大の商圈だ。かつて馬の銅像があったことから、地元民からは「大銅馬商圈」と



地下街の入り口





【連雲港】

蘇寧広場オープンで活気付く港湾都市

孫悟空の故郷

連雲港は江蘇省の中で最北の都市で、山東省の日照や臨沂と接している。「連雲港」という名前は耳にしたことがない人も多いと思うが、西遊記の主人公である孫悟空の生まれた山「花果山」と聞けばピンと来る人もいるだろう。花果山は連雲港にあり、江蘇省で最高峰を誇

る山なのだ。この花果山に加え、海にも面していることから風光明媚な街として知られる連雲港は豊富な観光資源を持っている。

連雲港は比較的發展が遅れている蘇北に位置する。14年のGDPは1965億8900万元、社会消費品小売総額は740億4700万元で、江蘇省の13の地级市(省クラスの行政単位と県クラスの行政単位の間)の中では宿遷をかくらうじて上回っているだけだ。

もつとも、連雲港は中国の沿海部開放都市の第一陣で、沿海十大港湾にも挙げられ、コンテナ港としては世界ベスト100にランクインする。中央アジアを経由して欧州に至る、いわゆる「チャイナランドブリッジ」の基点として注目され、陸運と海運の結合という優位性を生かし、中国が策定している42の総合交通ハブの一つでもある。近年の成長は目覚しく、固定資産投資や消費、輸出入総額、外資による投資、都市部可処分所得などの増加率は蘇北でトップクラスだ。

期待が高い 蘇寧広場

連雲港で最も賑やかなエリアと言えば新浦区において他にない。同区の経済規模は連雲港全体の70%、税収は55%を占める。同エリアにおける通灌路と隴海步行街の交差点が連雲港唯一の商圈と言っても過言ではないほどの盛り上がりである。オフィスビル、銀行、ホテル、大型商業施設、スーパー

マーケットなどが集中している。今、一番ホットな施設と言えば、通灌北路に2014年9月30日にオープンした蘇寧広場だろう。同広場は、無錫、福州、成都に続く4店舗目で、安徽省の芜湖店と同時間営業となった。店舗構成は、百貨店形態が60%、飲食が30%、その他が10%といった割合だ。

筆者が訪れたのはオープン当日だったが、実に30万人超の買物客



2014年9月にオープンした蘇寧広場はものすごい人出

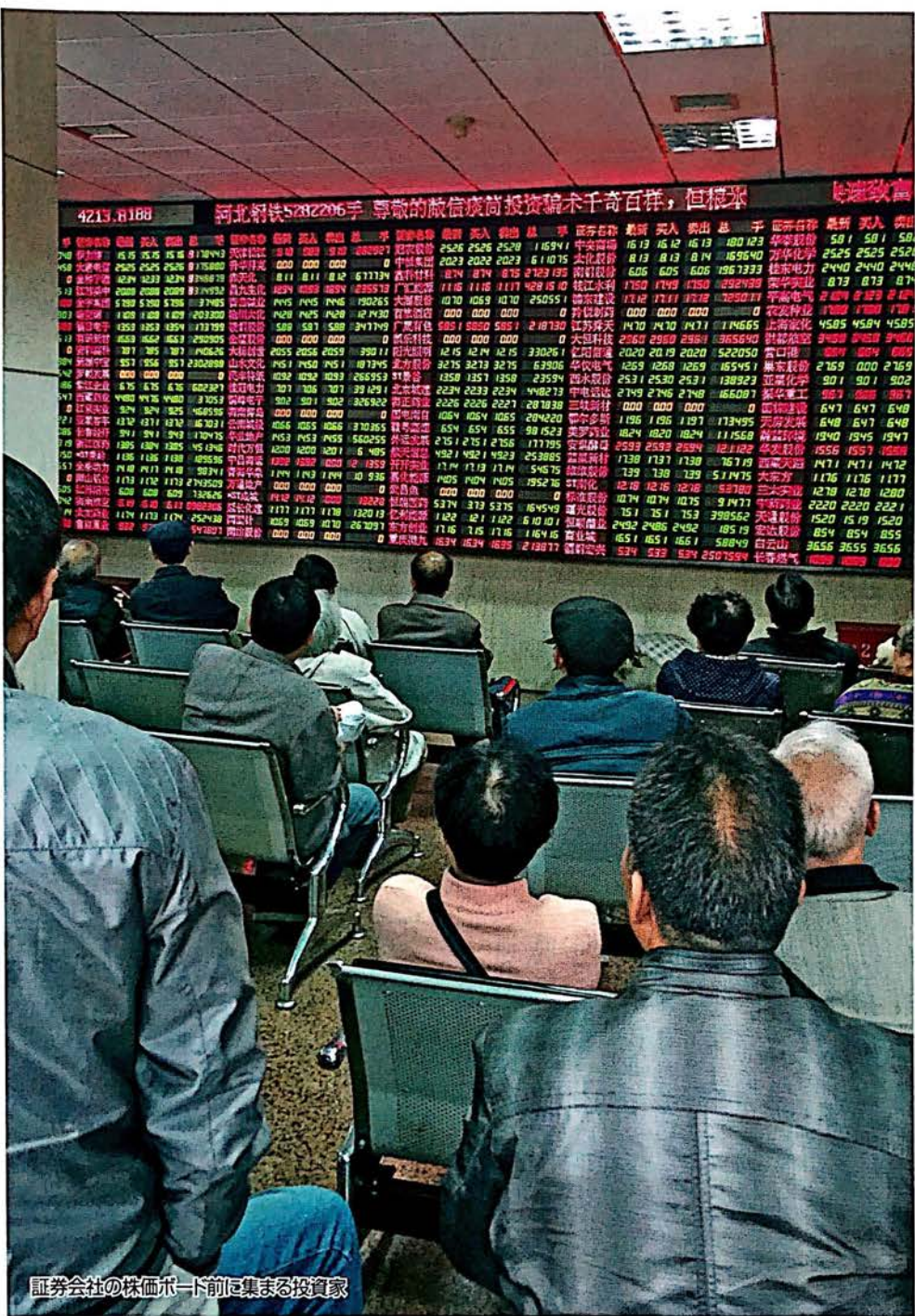
が詰め掛け、足の踏み場もないほどの大盛況ぶり。初日の売上高は1500万元を突破し、開業後8日間では8000万元超を売り上げたという。待望の都市型コンパクトの誕生で、地元市民の期待の高さがうかがえる。

同広場の代表的な入居テナントとしては、連雲港には初進出となるH&Mやユニクロ、そしてスターバックスやモンブラン、オメガなどが

トレンド・ウォッチ 現地の最新商品&サービス

若年層も参入、株バブルはいつまで続くのか

中国で盛り上がる株式投資ブーム



証券会社の株価ボード前に集まる投資家

街の話題は株一色

2014年後半頃から中国人がハマっているモノがある。それは、スマートフォンの新製品や日本発の美味しいスイーツなどではない。もっと直接的で自分の生活に直結してくるものだ。それはズバリ、株式投資による資産運用だ。俗っぽく言えば「株式投機によるカネもうけ」とでもなるだろうか。

中国株式市場を代表するインデックスの上海総合指数は、15年4月までのわずか半年間で2倍以上になった。14年は2000pt台だった指数は、4月末には4500ptまで上昇。07年に付けた過去最高値の6000pt台を目指し、市場では「夢よもう一度」という期待感が高まっている。

実際、上海の街は株の話であふれている。地下鉄やバスの中、またレストランやカフェで耳にする話題は株一色。若い女性たちが「今日のA株は上がっている……」などと笑顔で話しながら歩くのを見かけるほどだ。飲食店やパレル店の店員は仕事の合間を縫ってスマホを取り出し、株価チェックと銘柄の売買に余念がない。もちろん、証券会社の店頭も盛り上がる

ている。株価ボードの前に置かれたソファには地元のおじいちゃんおばあちゃんが居座り、さながら株投資のサロンのような。株価チェックができる端末も置かれ、活気がいまぎっている。

新規参入者の62%が「80後」

このチャンスを逃すまいと、投資家が市場に続々と参入している。15年1～3月期の新規口座開設数はなんと795万口座に上った。わかりやすく例えると、わずか3カ月の間に埼玉県民が全員口座を開設した計算になる。この勢いはその後も続き、4月20日から24日の週にはなんと413万の新規口座が開設された。月次ベースではもちろん過去最高の数字。1日当たり80万口座が開かれたということになる。

さて、今回目立っているのが若年層の新規参入だ。前述の1～3月における新規口座795万口座のうち、「80後（1980年代生まれ）」世代がなんと62%を占めたというのだ。これまで投資にはなかなか縁のなかった若者世代だが、アリババ系の小口金融商品「余额宝」などで慣れてきたのだろうか、はたまた投資ブームに乗り遅れまいとするムードが高まってき

たのだろうか、ここにきて一気に株式市場に乗り込んできた。

別の統計によると、14年から15年3月の間に深セン市場において新規に口座を開設した者のうち、30歳以下が37.7%を占めたということである。13年末時点ではこの数字はわずか11.66%だったので、割合が大きく上昇した。30歳以下というと、85年生まれ以降の世代。もちろん「90後」も含まれているだろう。

総合大学である中南财经政法大学の金融学院のとあるクラスでは、14年9月の新学期開始以来、投資にのめり込む学生が少なくないという。50人いる学生のうち、半数が株式投資を経験済み。男性20人のうち、15人が投資を行っている。その大部分が利益を得ているそうで、小遣い稼ぎ以上の「リターン」を受ける者もいるだろう。

もつとも、彼らはそれほど資金を持っていくわけでもなく、小口投資を細々と続けているスタイルが多い。親からお金を借りて投資する者もいるが、それでも自中心を持って着実な投資をしているよう。ただ、投資に慣れた彼らが今後社会に出て、マーケットの主役になる時代も近いと思われる。

大亀浩介の中国ビジネス コンサルタントの眼

新型iPhoneでキャリアも変更 最大手のモバイルに死角あり?

中国携帯をiPhone 6 plusに変更しました。先月香港で購入したSIMフリー版です。早速、4GへのSIMカード切り替え手続きのために中国移动の営業所に足を運びました。日曜日の午後で待ち人数は20名強。ワクワクしながら待つこと30分、やっと私の順番になりました。カウンターに行き携帯番号を伝えたら、「会社名義で契約されたものだから、会社の紹介文を持ってこい」とのこと。2004年に弊社に入社したときに支給されたものをそのまま利用しているのですが、個人名義では変更できないそうです。

その後も必要な書類などを確認しようにも、店員にぶっきらぼうで面倒臭そうな態度を取られ、不愉快な気持ちになりました。元々、通話途中で聞こえなくなるなど通信品質にも不満を抱いていたので、もう思い切って見切りをつけようかと決心。上海に来てからかれこれ10年以上利用していた中国移动に愛着もあったのですが……。

その足で中国聯通の代理店に向かい、新規で番号を申請しました。外国人が多く居住する地区で、台湾系の代理店でもあるためか、接客は丁寧で詳細にサービス内容や料金を説明かつ推薦してもらい、納得してプランを選ぶことができました。コース料金もデータ通信容量が400MBに加え、120元のデポジットを支払うことでさらに毎

月500MB分を追加してもらえ(合計月900MB)、通話200時間分と合わせて月78元となりました。これまで毎月中国移动に数百元払っていたことを考えれば、大幅なコストダウンです。

中国携帯電話市場で圧倒的なシェアを誇る中国移动。14年末の契約者数は8.07億人で、2.99億人の中国聯通、1.49億人の中国電信を圧倒しています。14年にサービスをスタートさせた4Gについても、15年第1四半期時点で中国移动の契約者数が約1.43億人と全体の実に88.3%を占め、今年2月ようやく4Gライセンスを取得した他2社を大きく突き放しています。

圧倒的なユーザー数と国土全体にくまなく広がる通信カバー区域を背景に、当面は中国移动の“天下”が続くでしょう。特に日本のようにキャリア間で携帯番号をそのまま乗換えできるMNP(ナンバーポータビリティ)が提供されていないことも、キャリア乗換えを抑制する要因になっているでしょう。

しかし、利用者が多いがための通話及びデータ通信品質の劣化、さらにはサービスや料金面での不満などが中国移动や携帯電話市場の今後はどう影響していくのか。注意深くウォッチしていきたいと思えます。

「エコ」がキーワード、

成長期待の塗料マーケット

中国の塗料市場の現状と展望

建築業界における巨大なニーズを背景に、塗料市場は堅調な成長を続けている。2014年の世界の塗料販売量は前年比3.9%増の4338万トとなった。市場規模は1323億米ドルだ。建築用塗料が販売量ベースで2169万ト（全体の50%）、販売額ベースで635億米ドル（48%）と大きなシェアを占める。地域別にみると、アジア・太平洋地域における消費量が全体の47%を占めてトップで、欧州が24%、北米が18%、南米が6%となる。アジア・太平洋地域の中で58%を占める中国が世界最大の塗料消費国であり、同時に世界最大の塗料生産国でもある。

14年の中国の塗料生産量は1648万1900万トで、前年比では7.9%の増加。業界では1970社がひしめき合っており、総販売額は3800億元を誇る。一方、人口比で見るとまだまだ成長の余地がある。13年における建築用塗料の1人当たり消費量は3.6キログラムで、世界平均の同15キログラムとは大きな差がある。ただ今後は、不動産業界の復調に加え、生活の質の向上を求める若者層による家の改装需要などもあり、塗料業界のさらなる成長が見込めるだろう。今回は、世界初の無機粉体塗料ブランドとされる安塗生の姜林岑・市場総監に、中国の塗料市場の現状と今後の見通しを聞いてみた。

中国の塗料市場の現状を教えてください。

14年の中国の塗料生産量は1648万1900万トだった。

主要企業は1970社を数える。売上高は前年比11.9%増の3867億元、利益総額は同12.9%増の276億元だった。地域別売上高は、江蘇省（965億元）、広東省（746億元）、上海市（357億元）の順。生産量で見ると、広東省（333万ト）、上海市（187万ト）、江蘇省（182万ト）の順である。

用途別では、建築用塗料が全体の37%を占めており、保護塗料が21%、一般工業塗料が11%、工業木材用塗料が11%、粉末塗料が9%、船舶用塗料が5%、自動車用塗料が3%、プラスチック用塗料が2%などとなっている。住宅などの不動産が中心となる建築業界の成長が塗料市場の最大のドライバーであり、製品の研究開発や生産にとって

案例工程 >> 家居



华远 铭悦世家



绿城 玉兰花园



华润 橡树湾



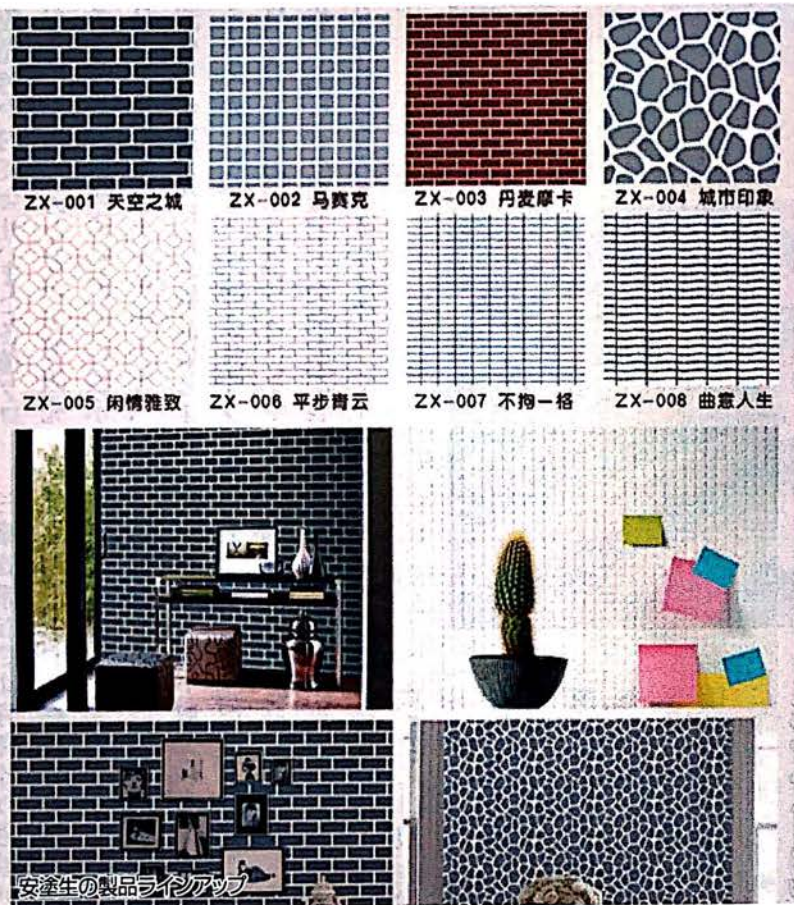
万科 四季花城

重要なファクターとなっている。保護塗料は、運輸、石油化学、エネルギーなどの産業の成長に後押しされている。このほか、スマートフォンやPC、関連設備のニーズ増大に従い、14年においてはプラスチック用塗料市場の成長が最も大きかった。一方、各地の交通規制や自動車販売のスローダウンに伴い、自動車

用塗料は若干影響を受けた。
中国の塗料市場の主要プレーヤーを挙げてください。どのような競争が繰り広げられているのですか。

中国の塗料業界のリーディングカンパニーはほとんどが外資だ。建築塗料分野では、オランダの阿克苏ノーベル(製品ブランド名はDünnex II デュラックス)と日本ペイントの2強。粉体塗料では、粉体塗料、タイガー、杜邦華佳(デュボン系)が大

手。船舶用塗料では、ノルウエーのジヨータン、阿克苏ノーベル、ヘンペルが3強。また、自動車用塗料では阿克苏ルタ、PPG、バスの3社、自動車補修用塗料ではPPGと阿克苏ノーベルの影響力が大きい。
比較的馴染みやすい建築塗料分野では、Dünnexと日本ペイントがそれぞれ市場シェア18%前後を有しており、甲乙つけがたい。以下、中国系の立加美、華潤、嘉宝莉、雪莪花、ドイツのDufa、フィンランド



のティックリラ、中国の三棵松と続く。

Dünnexと日本ペイントは共に外資系だが、後者は92年に中国に進出するなどいずれも中国市場での経験が豊富だ。企業イメージや広告の活用にも長けていて、毎年10億元超のマーケティング費用を投入してブランド力の強化に余念がない。Dünnexは13年から、人気テレビ番組「爸爸去哪儿」でブレイクした林志穎をイメージキャラクターに採用し、若者層への訴求を図っている。日本ペイントは南アフリカの著名画家を招いて北京と上海の地下鉄駅で長さ60mに及ぶ巨大壁画を描いてもらうというイベント型広告戦略を行い、話題となった。また、東方衛視の番組「夢想改造家」のメインスポンサーとなり、番組内容にもブランド名を露出させるなど、積極的な広告戦略を打ち出している。

「安塗生」ブランドについて教えてください。他ブランドとどのような違いがあるのですか。

「安塗生」は世界中で最も環境面を重視した無機粉体塗料だ。すでに世界各地で特許を取得しており、ドイツのエコラベル「ブルーエン

ジェル」認証も受けている。市場では「エコ製品」として出回っているエマルジョン塗料や水性塗料もあるが、実はホルムアルデヒドや揮発性有機化合物、重金属が多少なりとも含まれている。当社製品は完全にホルムアルデヒドフリー、揮発性有機化合物フリーの環境に優しい塗料で、他のブランドとは全く異なる。

一つの製品で塗料、壁紙、タイルの3機能を持つのも特徴だ。モジュールを使用して壁紙の模様やタイルの3D効果を再現している。従来型の壁紙用塗料は変色しやすかったり寿命が短かったりすることがネックだったが、当社製品は防水や通気性の面で強みを持つ。

当社は08年創業で、初期は緑地集団や万科企業と組んで外壁市場に参入した。14年から小売市場へ進出し、ディーラーは50社以上を数える。15年中に200店舗、3年内に500店舗展開を目指す。年商は3億元前後だ。

中国において塗料の主要販売チャネルとしてはどのようなものがありますか。インターネット販売の状況はいかがですか。

紅星美凱龍、百安居などの建材

浙江省4位の規模 日本ブランドも存在感あり

にオープンした。不動産デベロッパーの潤和房産の開発によるもので、杭州大厦が経営管理を行っている。ポジショニングは国商大厦よりわずかに低く、ブランドもミドルエンドおよび大衆ブランドが中心だ。特筆すべきは11年に入居した杭州大厦系の高級スーパー、LSEだ。日本のスナック菓子やバス・トイレタリー製品などの輸入品が数多く売られ、「メリーズ」「ネピア Genki!」「グヘン」などのおむつブランドも揃っている。

迪蕩世茂商圈は迪蕩CBDとも呼ばれる紹興で第2の規模を誇る成熟した商圈だ。越城区と紹興国

家ハイテク産業開発区に位置し、同市の金融及びビジネスの中心部でもある。高層ビルが立ち並ぶその光景は、まるで北京の金融街にいる趣だ。金融機関や大企業が進出し、高級マンションも数多くある、紹興の中でもハイエンドエリアという位置付け。その中心は、10年にオープンした世貿広場である。外婆家などの人気レストランや映画館が揃い、週末になると家族連れで賑わう。主力商業施設は百盛百貨(パークソン)と欧尚超市(オーシャン)。百盛百貨は人気が高いというわけではないものの、資生堂やファンケルが出店している。

万達を中心に発展中の柯橋商圈

柯橋商圈の名前にもなっている柯橋は、アジア最大と言われる織物市場「中国軽紡城」で有名。中国の軽織物売上高の約3分の1がこの地で計上される。同商圈は10年12月にオープンした万達広場が中心で、その後、天虹百貨、銀泰百貨、聚銀時代購物中心が相次いで開業した。万達広場は「第三代」タイプで、映画館、カラオケボックス、子供用遊戯施設、レストランなど体験型消費の比重を高くしている。13年開業の聚銀時代購物中心もレストランとエンターテインメント中心の店舗構成だ。

シネマコンプレックスの厚品影城は団体購入チケットが人気で、同商業施設の主力テナントとなっている。飲食では、浙江省で人気の「N多寿司」、台湾地区発の「爺茶」のほかフレッシュジューススタンドもあり、若者から高い支持を受けている。

同商圈の発展はスーパーマーケットからもうかがえる。万達広場の華

潤万家、聚銀時代購物中心の永輝超市は買物客がとても多く、各ブランドの販促の激戦地として名高い。店内の通路においては、左側では統一の「壘酸菜麵」の販促、右側では康師傅の「老壘泡椒麵」の試食、前方では蒙牛乳業の「優益C」のプロモーション、後方では伊利乳業の「每益添」の試飲が行われていた。日本の代表的ブランドも陳列されており、日清の即席麵、サントリーの「利趣奶茶」、キリンの「ファイア」、ネピアのティッシュ、花王の「メリーズ」などが人気だ。

紹興で最近のホットな話題といえば、総床面積25万㎡の大型複合商業施設、銀泰城がオープンしたことだ。解放路商圈の南端にある同商業施設は14年12月12日に開業。12万3000㎡を誇るショッピングセンターは、H & M、永輝超市のハイエンド版「BRAVO YH」、IMAXシアターの盧米埃影城、子供用テーマパークの永旺莫莉幻想が四大ブランドとして名を連ねる。また、レストランも70軒以上と豊富。360種の進出ブランドのうち、約半数が紹興初進出だ。



蔣佳玲

キャストコンサルティング
コンサルタント

1996年台湾大学政治学部国際関係学科卒業、97年米シラキュース大学広報修士課程終了。その後、台湾地区大手PRエージェンシー、台北101ショッピングモール、米系シリアル大手メーカー等を経て、05年からキャストコンサルティングのマーケティングコンサルタント。

キャストコンサルティング(上海)
加施徳諮詢(上海)

上海市浦東新区浦東南路528号
上海証券大厦北楼1404室

☎ 021-6321-3000

🌐 www.cast-marketing.com/

✉ service@cast-marketing.com

キャストコンサルティング

紹興編

都市別マーケティングレポート



永輝超市は、各ブランドの販促の激戦地として名高い

キャスト中国ビジネス「中国マーケティングEC会員コース」
 会報誌『チャイナ・マーケット・インサイト』毎月発行

ご希望の方に会報誌サンプルを無料で送付。
 お申し込みは下記サイトから。
<http://www.cast-marketing.com>

紹興といえば紹興酒が真っ先に思い浮かぶが、経済規模はそれほど知られていない。実は同市の2013年GDPは3967億2900万元で、浙江省では杭州、寧波、温州に次ぐ第4位の規模である。中国全土では第37位だ。13年の社会消費品小売総額は1318億元で、同トップ30クラス。経済発展が進み、消費の実力もある都市といえる。

最大の商圈は解放路

紹興の主要商圈は、解放路商圈、迪蕩世茂商圈、柯橋商圈の3つが挙げられる。

解放路商圈は市中心部の解放路沿いにあり、紹興で最も賑やかなエリアだ。アパレルや化粧品などの専門店が多く並ぶ中、大型商業

施設は国商大厦と杭州大厦潤和購物中心がメインとなる。国商大厦は1992年開業の老舗ブランドで、営業面積は約3万㎡。中高級百貨店というポジショニングだ。06年に高級ブランドが中心の精品館を立ち上げ、ロレックス、オメガなど高級腕時計ブランドがテナント入居している。11年には日本から小

売コンサルティングのサポートを受け、30～50歳の女性をメインターゲットとするフロア構成へと改装。22 OCTOBRE、COCO DEAL、23区などの日系アパレルブランドや資生堂、ファンケルなどの化粧品ブランドを誘致した。13年には1階の化粧品コーナーも一新し、シャネル、エスティローダーなどがカウンターを並べ、紹興で最も高級化粧品ブランドが揃った売場となった。国商大厦の年商は9億元規模で、地元市民が買い物する際の第一選択肢となっている。

杭州大厦潤和購物中心は04年

※当コンテンツは「Whenever BizCHINA」掲載分を転載したものです。

編集後記

今回は、上海と隣接する浙江省と江蘇省の三～四線級都市である紹興、金華、塩城、連雲港の4都市を取り上げました。これまで日本からは浙江省の杭州や寧波、江蘇省の蘇州や無錫などには多くの企業の方々が足を運んでいると思います。しかし今回取り上げた4都市は、紹興酒に金華ハム、あとは塩(?) くらいのイメージしか持っていなかったのではないのでしょうか。

正直、私もその1人でした。若干田舎っぽい街並みを見て、老舗のレストランやお店でそうした特産品を味わい、購入したいと思って訪れたのですが、いずれの都市も私の想像をはるかに超える発展ぶりでした。

街づくりや交通インフラなどに関しては、各地方政府の「GDP積み上げ競争」によるものも大きかったとは思いますが、商業面においては地場系大手2社による貢献が大きいのではと感じました。つまり、浙江省であれば銀泰、江蘇省は金鷹。いずれも省都の杭州と南京を地盤とする小売流通グループです。両社ともに省を跨ぐほどの店舗網や仕入れルートを背景に、上海など主要都市で人気のH&Mやユニクロ、ZARAなど著名ブランドをテナント出店させ、各地の消費者から高い支持を集めていました。

そうしたなか、最も印象的だったのが連雲港です。14年の国慶節休暇を利用して訪れたちょうどその日が「蘇寧広場」のオープン日と重なりました。館内は足の踏み場もないほどの大混雑。すべてのエスカレーターが人で埋め尽くされ、スターバックスも殺到する注文客でスタッフがてんやわんやの状態でした。

これまで大型スーパーや家電量販店しかなかった連雲港市民にとっては待ちに待った大型商業施設。上海などではこうした商業施設が買い物から娯楽や体験型へと変化しつつありますが、みな生き生きとした表情で買い物を楽しんでいる様子を眺めていると、ショッピング需要が旺盛な地方都市がまだまだたくさんあると改めて思いました。(亀)



大亀浩介

キャストコンサルティング取締役

1996年早稲田大学政治経済学部卒業。台湾のIT企業などを経て、2004年弁護士法人キャスト入所。2005年キャストコンサルティング入社、2007年取締役。会員制「キャスト中国ビジネス」事業を立ち上げたほか、在中国日系企業のWeb戦略・Web制作・運営の支援や中国マーケティングのコンサルティングを行う。著書に「中国ネットビジネス成功へのポイント」(日本経済新聞出版社)のほか、現在、日経MJ(流通新聞)でコラム「中国&アジア商売見聞録」(隔週掲載)を執筆。講演多数。



蔣佳玲

キャストコンサルティング(上海)有限公司
コンサルタント

1996年台湾大学政治学部国際関係学科卒業。

中国(台湾含む)でのマーケティング経験を15年以上有し、実務経験に基づいた日系企業の中国進出及びマーケティング・販売・プロモーション戦略と実行のコンサルティング業務を行なう。

現在、中国全土をカバーする日本語ビジネス情報誌「WheneverBizCHINA」に都市別マーケティングレポートを連載中。

◆ 著作権

本資料の著作権は出典が明記されているものを除き、原則、キャストコンサルティング株式会社に帰属します。いかなる目的であれ、本資料の一部または全部について、無断で、いかなる方法においても複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与等を行うことを禁止します。

◆ 免責

本資料記載の情報は、キャストコンサルティング株式会社が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。キャストコンサルティング株式会社は当該情報に起因して発生した損害については、その内容如何にかかわらずいっさい責任を負いません。この情報は執筆時の情報に基づいておりますので、今後登場する法令、司法解釈等により、記述内容と異なる結果が導かれる可能性があることに十分ご注意ください。また、本資料に記載された内容は予告無しに変更されることもあります。

「キャスト中国ビジネス」中国マーケティング・EC会員コース

中国の市場・業界・商習慣を徹底調査&研究

チャイナ・マーケット・インサイト News Letter 2015 MAY (vol.24) 2015年5月発行

発行:キャストコンサルティング株式会社

〒105-6234 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー34階

TEL:03-5405-7860 FAX:03-5405-3308 メール:service@cast-marketing.com

© 2015 CAST Consulting Co., Ltd. All Rights Reserved

中国マーケティング・EC会員コース

中国市場徹底攻略! 専門性の高い情報とコンサルティングの融合による、スピーディで精緻なビジネスサポートを提供いたします。

当会員コースにご入会いただくと…

1 中国現地生情報をリアルタイムにレポート!
会報誌「チャイナ・マーケット・インサイト」が毎月届く!!

毎月20日発行、ウェブコンテンツを冊子形式に編集し、お手元に郵送いたします。(1・2月と7・8月は合併号となります)

2 個別調査案件レベルの量および質のコンテンツほか
精度の高い情報の数々が、24時間オンラインで閲覧可能!!

クライアント様から、個別に受注する調査案件と同等レベルのクオリティです。

3 コンサルタントがビジネス相談に対応!! (メール・TEL)

中国での調査・販売に関する各種相談に電話またはメールでコンサルタントが対応いたします。
また、業界・市場の実態や販売店リストなども、デスクリサーチ(ネット上での情報収集に限る)の範囲内であれば会員内で対応可。
(内容によっては、別途お見積もりを提示する場合がございます)

この内容で、わずか月々50,000円/4,000元(税別)!!

- ・ご契約は日本or中国いずれも可能。ご契約期間は1年単位で承っております。
- ・その他ご契約条件、利用規約等については、弊社ホームページご入会案内をご覧ください。

「それが知りたかった!」にお応えする、キャスト独自のコンテンツラインナップ

中国マーケティング専門のコンサルタントが現地視察・取材を敢行!

- ・中国沿岸部から内陸の三・四線級都市まで網羅した「都市別レポート」
- ・各都市の80后・90后の家庭を訪問調査し消費動向を見据える「消費者研究」
- ・自動車、流通、食品など各業界のリーディング企業から読み解く「業界動向」
- ・中国で活躍する市場部マネージャー級人材への取材から把握する「実務の視点」
- ・統計データから中国市場・業界のいまと今後を知る「数字で見る中国」など

中国の市場・消費者・
流通・小売・物流・都市・
業界などの情報が
盛りだくさん!!

マーケティングレポート 一例

- ・香港系大手ドラッグストア「ワトソズ(屈臣氏)」徹底研究
- ・外資系大手スーパー「カルフルー」徹底研究
- ・大潤発に学ぶ中国市場攻略の方程式
- ・中国ネット通販最大手「淘宝」トップ店舗徹底研究
- ・ブルガリとセリーヌを徹底分析! 中国奢侈品市場
- ・台湾系の85度C、中国で躍進のポイント など

都市別レポート 一例

上海・北京・広州・成都・重慶・瀋陽・青島・
ハルビン・杭州・寧波・蘇州・南京・天津・長沙・
無錫・湖州・西安・武漢・鄭州・合肥・温州 など
掲載都市は随時更新中!!

会員企業様

花王、三井倉庫、岡村製作所、ヴィンクス等(順不同)多くの企業様にご利用いただいております。
今後、会員企業間の異業種交流なども開催予定です。



キャストコンサルティング株式会社 会員サービス事務局 TEL: **03-5405-7860**

MAIL: service@cast-marketing.com 〒105-6234 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー34階